

大阪大学歯学部附属病院、大阪府立急性期・総合医療センターを受診された患者

さんへ

1. 研究科題名

機能亢進型 GNAS 変異疾患の包括的病態解明

2. 本研究の目的

本研究は、大阪大学歯学部附属病院または大阪府立急性期・総合医療センターにて検査あるいは治療のために採取した病理組織の残余検体を用い、機能亢進型 G-nucleotide binding protein- α subunit (GNAS) の発症原因や性質を明らかとし、新規治療法を確立することを目的としています。本研究で得られた結果は、診療精度の向上や治療方針立案、予後の改善につながります。

3. 研究の方法

対象：2000 年～2026 年 3 月に当院または大阪府立急性期・総合医療センターで処置を受けた方。

検査・治療のために採取した残余組織と検査データ、診療録を利用します。患者さんの病理診断後の病理組織検体および残余検体を用いて、機能亢進型 GNAS 変異疾患の発症原因や性質を明らかとするため、蛋白質や細胞毎の遺伝子の発現解析（空間トランскriプトーム解析）を行います。

4. 他機関への試料・情報提供：

詳細な解析のために、研究の対象となる方の組織切片を大阪大学大学院歯学研究科口腔病理学教室で作製した後に、組織切片を東京歯科大学口腔科学研究センターおよび東京大学大学院新領域創成科学研究科へ移送する可能性があります。得られたデータはデータベースへ登録し、データベースを通じたデータ共有では、日本国内の研究機関に所属する研究者だけではなく、製薬企業等の民間企業や外国にある研究機関に所属する研究者もデータを利用する可能性があります。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報から、患者さんを特定できる個人情報（氏名、住所等）を削除し、匿名化を行います。また、研究成果は学会、論文等での発表を予定していますが、患者さんの特定につながる個人情報は利用しません。

6. 利益相反

本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

7. 問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。本研究に参加しな

いこと、または参加への同意を撤回することによって患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪大学大学院歯学研究科 頸顎面口腔病理学講座

電話番号 06-0879-2891

豊澤 悟 (研究責任者)